

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび下記項目の検査受託を開始することとなりましたので、ご案内申し上げます。

ご利用の程、宜しく願い申し上げます。

敬具

( 記 )

■ 検査項目 [2319]ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン(LRG)

■ 受託開始日 令和2年10月1日(木) 受付分より

### ■ 検査要項

項目コード	2319
検査項目名	ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン(LRG)
検体量・保存	血清 0.4mL ・ 冷蔵
容器	①汎用容器
検査方法	LA(ラテックス凝集比濁法)
基準値 <sup>※1</sup>	16.0 未満 $\mu$ g/mL (炎症性腸疾患の活動期の判定補助における参考基準値) ※健常者参考値:6.48~13.92 $\mu$ g/mL
所要日数	3~4日
実施料 <sup>※2・3</sup>	276点 [D003 9]ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン
判断料	144点 生化学的検査(I)
備考	※1. 判定上の留意事項: 感染症、リウマチ等の炎症性疾患、一部の悪性腫瘍においてLRG値が上昇することがありますのでご注意ください。 ※2. 血清検体として、LRGを潰瘍性大腸炎またはクローン病の病態把握を目的として測定する場合は、3月に1回を限度として算定できます。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由および検査結果を診療録および診療報酬明細書の摘要欄に記載してください。 ※3. 潰瘍性大腸炎またはクローン病の病態把握を目的として、カルプロテクチン(糞便)または「[D313]大腸内視鏡検査」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。

### ■ 参考文献

伊藤いづみ, 他: 臨床栄養 135 (6): 748-750, 2019.

飯田智哉, 他: IBD Research 10 (4): 212-217, 2016.

以上  
No. 20-28